

常総学院同窓会々報

発行/常総学院高等学校同窓会 編集/同窓会会報編集委員会
委員長/飯田晃久 印刷/㈱大鵬社



ごあいさつ



理事長
櫻井 平

常総学院同窓会会員の皆様には、日頃より母校の発展のために温かいご理解とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

今年度より法人理事長に就任致しました。微力ながら学校発展のために懸命に努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

さて、本校の教育目標は、社会に貢献するリーダーの育成です。そのために在校生には、学力向上に励み、皆勤を目指して日々研鑽に努めるよう説いています。また、グローバル化の進展やAIなどの科学技術の発展がもたらす社会の急激な変化に対応できる能力の育成も喫緊の課題です。そのためICT教育環境の充実やアクティブラーニングなどの新たな教育活動の導入を積極的に図っています。

その結果、平成三十年度も、母校では多くの教育活動の成果を残すことができました。進学面では東京大学法学部への合格をはじめ、医学部医学科十五名合格など、難関大学の合格者数が大きく伸びています。一方、部活動の面では吹奏楽部や男女バドミントン部、水泳部など多くの部活動が全国大会への出場を果たしています。詳しくは本誌をご覧くださいと思いますが、大学合格実績にしても部活動実績にしても、文武両道の進学校として相応しいものです。

卒業生の皆様には、こうした母校の発展を誇りとし、一層のご活躍を期待するものです。本校で学んだ卒業生の一人一人が豊かで幸せな人生を送ることこそが、理事長としての最大の願いです。

今年度も生徒・教職員が一体となって、学習活動、部活動、学校行事に取り組んで参ります。同窓会会員の皆様には、さらなるご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

活躍する 卒業生

第十九期生 富田 友香



常総学院中学校第三期、高等卒業の富田友香と申します。この度は同窓会会報誌に寄稿する機会を頂き、ありがとうございます。ごさいます。

私は卒業後、玉川大学文学部に進学し、現在勤める富士通リース株式会社にて就職しました。五年間の業務統括部、その後五年間自治体関係の営業、そして現在民需関係の営業を担当して十二年目を迎えています。主に富士通製品をリース契約として締結することが仕事内容です。

私は営業職が天職であると思っています。まずお客様の希望を聞きだし、それを踏まえて自分たちができることを提案し、両者の納得が成立すれば契約となるこの営業の流れには、「コミュニケーションが何より大切」です。

人と話すことが大好きな私は、今日

はどんな人と出会えるかな、どんなお客様かな、と日々ワクワクすることがあります。どんな相手にも純粋に興味を持てること、コミュニケーションを楽しむ秘訣だと思っています。

私は昔から話すことが好きで、人と何かを共有することが大好きでした。常総学院での学生生活は本当に楽しく、毎日笑い転げて、かけがえのない友達との出会いがありました。同窓の友人たちのおかげで、社会人になってからの数々の壁も越えることができています。さらに、学生生活のすべてが現在の私を支えています。楽しかったこと、悲しかったこと、学んだこと、体験したこと、すべてが今の私のエネルギーとなつていきます。私たちの学年は甲子園で優勝しました。当時とても嬉しく、大興奮で応援に行っていたのを今でも鮮明に思い出します。あれから十六年、日々地元で感謝して生活し続けていたら、当時よりも今の方が常総学院のことを好きなくらい、今でも野球応援や職員室に通っています。当時の感謝が年々増すのです。

常総学院があるから頑張れる、頑張っている応援される、応援される

ともっと応援したくなるという幸せのループが、今の私の生活の中で続いています。真剣に楽しむ学生生活を送れたからこそ、今の幸せがあります。今の瞬間を大切に楽しく自分らしく過ごすことが、きっと未来の自分を作るのです。悩むことがあっても楽しむこと、自分を支え笑わせてくれる周りを大切にすること、そして何より自分のご機嫌を自分で取り続けること、が私のモットーです。

思い出が増え、常総学院への愛も膨らむ中、今の会社を定年したら、野球部の寮母になるのが、現在の夢です。

こんなステキな夢を抱きながら、今後もワクワク仕事をし、自分のスキルを高めていきたいいな、と思っています。大好きな常総学院から、寄稿の機会を頂いたこと大変光栄で嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。

第二十六期生 加納 遼太

私は現在、ラグビーセブンズ日本代表として活動しております。セブンズとは、普通のラグビーのルールとグラウンドの大きさが同じ七人制のラグビーのことです。

セブンズはオリンピック種目となっており、東京オリンピックでメダルを取ることが目標に日々練習しています。

三歳の時に訳もわからず河川敷に連れて行かれたラグビーですが、すぐにラグビーの魅力にひかれ、気付けば将来の夢も「日本を代表するような選手になる」とラグビー一色の生活になつていました。中学二年生の頃、「全国大会出場を目標に一緒に頑張らないか」と当時の常総学院高校の監督からオファーを受け、入学を決めました。十五歳から親元から離れ過ごした寮生活は想像以上に辛く、逃げ出したいと思つたこともありましたが、同じ厳しい環境の中頑張ってきた仲間のおかげもあり全国大会に出場することができ、全国ベスト16という結果を残し卒業することができました。

大学はラグビーの名門明治大学に入学し、ラグビーに明け暮れる毎日を過ごしていました。思うように結果が出ないまま四年間が過ぎてしまいました。トップリーグ（ラグビーの国内リーグで最も上のリーグ）からのオファーも無く、就職活動を経て明治安田生命

へ入社しました。当社のラグビー部はトップリーグの二つ下のリーグに所属しており、日本代表を夢見ていた私は夢を諦め、ラグビーは楽しむ程度にやろうと考えていました。しかし、その考えはすぐに変わりました。社会人一年目の冬、世界で一番ラグビーが強い国であるニュージーランドへ短期ラグビー留学が出来る機会があったので、すぐに留学を希望しました。世界で一番の国で過ごした日々がとても、刺激的でラグビー熱が冷めてしまった私をもう一度奮い立たせてくれ、もう一度真剣にラグビーを頑張ろうと、時間の許す限りラグビーに没頭しました。

社会二年目の冬、突然セブンズ日本代表の監督から「セブンズ日本代表の練習へ参加してみないか」とオファーを受けたのがきっかけで、当初夢みていた十五人制の日本代表とは違つものの、夢にまで見ていた日本代表に近付ける嬉しさからセブンズ日本代表の練習に参加しました。

留学をしてから、もう一度真剣にラグビーに打ち込んだおかげで、日本代表に選抜され現在世界各国の代表チームと試合をするまでに成長できました。私がラグビーを通じて、何事にも必ずチャンスはくる、そのチャンスに対する準備をおこななければ夢は叶わない、ということを学びました。



教育実習を終えて

専修大学 経済学部 国際経済学科
第三十一期生 五十嵐 健

母校である常総学院高等学校での三週間の教育実習は、長いようで短く、とても内容の濃い時間となりました。教育実習期間中には先生方からたくさんサポートしていただき、多くのことを学ぶことができました。実習中は、現場の先生方の業務が多岐にわたることを知り、驚きました。私たち実習生は、授業のための教材研究をしっかりすることで精いっぱいでした。しかし、実際の先生方は、学級管理の事務処理、学級の生徒の一人一人の把握、不登校や地域での問題などの処理、行事の準備、部活動の顧問などに追われ、教材研究以外にも多くの業務を毎日こなしていらつしやるという現状を知りました。先生方が陰日向で日々頑張つていらつしやる姿を目の当たりにして、自分が高校生だった頃の行いを、今になって反省しました。

また、教壇に立つて授業をしていく中でも学ぶことが多くありました。まず、生徒に授業で何を理解させ、何を考えさせるのかを明確にすることが大切です。緊張感をもって授業を展開していく中で、余談としてテレビやスポーツの話を含みながら、授業内容と関連づけて生徒が理解しやすいように工夫しました。私が想像していた以上に生徒に伝えることは難しく、こちらが「知っているだろう」と考えてしまつことが生徒の理解の妨げになることを知りました。そして、生徒の立場・知識に合わせて授業展開するためには、生徒にとって身近な余談を上手く利用する必要に気付かされました。それが、生徒の授業への関心・興味をひき、集中が持続して授業を聞くことにもつな



がります。次に、同じ授業の同じ発問でもクラスの雰囲気や生徒の反応によってアプローチの仕方が異なるということも学びました。クラスや授業の時間帯など様々な環境の違いによって生徒の反応も変化し、その変化に臨機応変に対応して、生徒の意見を引き出そうと工夫していくことで授業が成立するのだと実感しました。この実習では、生徒たちとの関わりが一番のやりがいでした。授業以外でも生徒に声を掛け、積極的にコミュニケーションをとるように意識しました。最初は思うようにいかず、落ち込みそうなる時にも、生徒たちの明るい笑顔から元気をもらい、「頑張ろう」と前向きに実習に臨むことができました。常総学院の生徒の何事にもチャレンジする、生懸命な姿や、感受性豊かで純粋な気持ちに触れ、自分も原点に戻つて頑張つていこうと思えました。三週間という短い間でしたが母校で実習できたことは良い経験になりました。校長先生をはじめ、指導してくださつた先生方、本当にありがとうございました。

教育実習を終えて

慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
第三十期生 宇津木 咲栄

六月三日から二十一日の三週間、常総学院高校にて教育実習をさせていただきました。私は理科を担当し、中でも物理の授業を行いました。今までは授業を受ける側であり、授業時間をどのように組み立てているかなど考えもしませんでした。が、今回の実習で授業をすることの難しさを実感しました。

物理というと、苦手意識を持ちやすい分野です。私の専門は化学ですが、化学や生物などの目に見える現象とは違って、物理では文字を置いて現象を数式にしていける必要になります。もうすでに苦手意識を持つてる生徒もいました。そんな生徒に少しでも苦手意識をなくして物理に取り組んでもらいたいと思

い、授業に臨みました。説明が上手いかない部分や、段取りが上手いかない部分もありましたが、生徒たちの協力もあり、無事授業を行うことが出来ました。授業に関して先生方から多くの助言を頂きましたが、中でも「理科はイメージできることが大切」という生物の先生の言葉が心に残っています。百聞は一見に如かずという言葉があるように、実験や説明を通してきちんと頭の中に状況がイメージできることで理解しやすくなること、教科を得意に、そして好きになつてもらう第一歩なのだと感じました。生徒たちと一緒に過ごして、沢山話しかけてくれることに感動しました。私の大学での話や高校時代の話に興味を持って聞いてくれる生徒が多く、進路を考える手助けになればいいなと思えました。また、近年は自分の意見を相手に伝えることが重要視されているため、クラスディ



スカッションの機会があったのですが、生徒たちには様々な考えや、価値観があり、それを伝えようとしている姿を見学しました。これからの時代、多様な価値観に触れた時は、それを否定するのではなく、多様性と共存していくことが求められます。その意味で、生徒たちは大人よりも多様性への向き合い方が優れているのかもしれないと感じました。中高生の段階から、多くの考え方を知り、自分で取捨選択をして自分なりの考え方を身につける機会が多く取られていることが少し羨ましくもありました。

また、私が生徒だった時と比較して、ここ数年でプロジェクターなどの電子機器を用いて授業をしていらつしやる先生方が増えていたことに衝撃を受けました。プロジェクターを用いて板書の時間を減らし、その分説明の時間を取るなどの様々な工夫があり、上手く新しいものを取り入れて授業を新しくしている先生方の向上心に自分も頑張ろうと思えました。

最後に、ご指導受け賜りました先生方、一緒に三週間を過ごした生徒たち、そして支えあいながら乗り越えた教育実習生の皆に感謝したいと思います。実習で学んだことを活かして、これからの目標に向けて引き続き努力したいと思います。

部活動 活動報告



野球部

感謝を忘れずに

三年四組 手塚 悠

私達三十五期生野球部は、人への感謝を忘れないことを学びました。当たり前のことですが、たくさんの方の支えがあつてこそ、自分たちのやりたい野球を続けられたと改めて感じました。

普段の練習では、効率よく質の高い練習をするために、全員が自ら考え行動し、切り替えを素早くすることを心がけていました。その甲斐あつて、秋の県大会で優勝することができました。優勝した時に選手だけでなく、応援してくださった方々も喜んでいただくことが選手たちのモチベーションとなっていました。しかし、皆さんに恩返ししたいと思ひ日々努力していましたが、甲子園への道のりは厳しいものでした。

これからは、野球を続ける人、そうでない人、さまざまですが、甲子園に届かなかつた悔しさと支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れず、常総学院での教訓を胸に頑張っていきます。三年間、本当にありがとうございました。

「これからの自分」

三十五期 三年二組 菊田 拓和

昨年読売ジャイアンツに指名していただき、プロの道に進むことになりました。一月から寮に入り、新しい経験をさせていただいています。その中でもプロはやはり練習がきつ、毎日懸命に行っています。在学中は、卒業生のみならず大きな支えのおかげで充実した生活を送ることができました。その分、一日でも早く一軍に上がり、応援してもらえるように頑張ります。



チアリーディング部

SOLDIERS

三年三組 飯田 もも

私たちチアリーディング部 SOLDIERS は、夏に野球応援、冬には競技チアの全国大会に出場する事を目標に活動しています。

野球応援では、暑い中 SOLDIERS の名に恥じない踊りをするために練習しています。試合では選手の背中を押して、見ている人に元気や笑顔を届けられるような応援が出来るように全力を尽くしました。競技チアの大会では、専門の先生がいいため、演技内容や音源全てを自分たちで決めました。部員同士で何度もぶつかり合いましたが、話し合い、解決し、大会に臨みました。SOLDIERS は今、全国大会に八年連続出場という結果を残しています。後輩のみんなにはこの連続出場を止めず、繋いでいってほしいです。また、SOLDIERS は先生方や先輩への礼儀、挨拶、ルールを守る、気配りなどを徹底しています。その伝統を引き継ぎ、良い SOLDIERS を作ってほしいです。



女子バドミントン部

最後の大会を終えて

三年一組 鈴木 幸恵

三年間の集大成であるインターハイが八月一日から熊本県で開催されました。この日のために辛い練習や苦しいことも乗り越え、日々の練習に励んできました。結果は、ベスト32でした。目標としていた日本一には届きませんでした。全ての試合で自分が今までやってきたことを出し切り、楽しく笑顔で戦い抜くことができました。

「一年生へのメッセージとしては、私たちが達成することのできなかつた日本一という目標を達成するために努力をしていってほしいと思っています。全日本ジュニア選手権では惜しくも準優勝という結果でしたが、私たちに足りなかつた積極性を身に付けて、三月

に行われる全国選抜大会では優勝してほしいと思います。また、日頃からお世話になっている方への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。応援しています。



男子バドミントン部

大会を終えて

三年二組 吉田 純

私は、今年茨城で開催された国民体育大会に出場しました。この大会で少年男子のチームは初戦岩手県に勝ち、二回戦まで進むことができました。私が選手として試合を行い、感じたことは様々な人たちの支えがあるということです。会場の準備、審判員、応援して下さる人など、何人も人の協力がある上で、成り立っているということだと思います。本当に多くの人に感謝しています。そこで私はとてもいいプレーをすることができました。実力のある相手にも負けず自分らしいプレーができました。それもたくさんの力があってのことです。

後輩たちには、私たちの行けなかったインターハイ団体に出場して、上位進出を目指してほしいです。毎日の練習を全力で行い、日頃の感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。今までありがとうございました。



弓道部

宮崎高校総体を終えて

三年十九組 青柳 賢四朗

弓道で全国大会に行き感じたことは、「雰囲気の違い」です。

全国大会全体の雰囲気は、今まで自分が経験したどの大会よりも緊張感に満ちており、選手は各県の代表として来ていることもあり、立ち姿も堂々としており、強い気配を発していました。自分は別世界に入ってしまったのではないかと思います。

大会結果は、残念ながら予選で敗退してしまいましたが、大変貴重な経験が出来たので悔いはありません。この

経験を活かし、大学でも弓道を続け、将来は世界大会の日本代表になれるように、精進したいと思います。

ここまでご指導下さった顧問の先生方に感謝しつつ、現在修練に励む一・二年生達にも大舞台に立てるように頑張ってくださいと思います。



パワーリフティング部

全国大会を終えて

三年十三組 藤井 泰陽

今年度の成績においては、六月の世界大会に男子一名、女子一名が代表として出場した他、全国大会で男子一名、女子六名が入賞し女子は団体で優勝することが出来ました。特に、一年生から入賞者が出るなど、三年生から一年生まで幅広く活躍することが出来ました。今後の後輩たちの活躍に期待できる結果だったと思います。

私も全国大会に選手として出場し、自己最高記録で入賞することが出来ました。この結果が出せたのは、一生懸命応援してくれた後輩達や様々なアド

バイスでサポートしてくれたOB・OGの方々がいってくれたおかげであり、とても感謝しています。

私も来年度からはOBとして他の三年生達と一緒に、この部活動を応援していきたいと思うので、後輩達には是非この部活でしか経験できない高校生活を楽しんでほしいです。



駅伝部

関東選手権大会を終えて

三年三組 小松澤 真穂

私は、八月に群馬県前橋市で行われた関東選手権に出場しました。関東選手権に出場する上で、七月の茨城県選手権大会で二万メートルと五千メートルに出場し、初日の一万メートルは二位、三日目の五千メートルは自己記録を大幅に更新し七位入賞し、関東出場を決めることが出来ました。関東選手権では大学生や実業団選手が集まる中、初日は二万メートル、三日目は五千メートルに出場し、一万メートルでは、自己記録に迫るタイムで走りきることが出来ました。入賞には一歩及ばず九位でし

だが、三日間で計十五キロ走り切った達成感はとても大きかったです。歴代の先輩方が経験したことのない関東という舞台で短期間で二種目出場は、私にとつて大きな挑戦だったこともあり、今後の競技に対する自信にも繋がりました。



陸 上 部

大会を振り返って

二年十一組 白井 海斗

私たち陸上部は、顧問の山本先生、張替先生、藤原先生のご指導のもと、二年生十名、一年生十六名の計二十六名で日々練習に励んでいます。短時間集中で、お互いが切磋琢磨し、高め合いながら練習しています。

今年、総大で一名、新人戦では二名が関東大会に出場しました。また、リレー種目では、昨年度に引き続き、男女共に県大会に出場しました。冬季練習や夏季練習の成果を十分に発揮し、自己ベストを更新出来た人も多くいました。

来年は、一人でも多くの人が県大会に

出場し、関東大会、更にはインターハイへ出場することを目標にしています。そのためにも部活のモットーである「克己」をもとに0.01秒でもタイムを縮められるように練習に励んでいます。



女子バレーボール部

「感謝」 三年一組 作古 なつみ

私たち女子バレーボール部は、最後の選手権大会の県予選を残念ながらベスト8という結果で終わってしまいました。ずっと目標として掲げていた全国大会への切符は逃してしまいました。それ以上に大切なものを得られたと感じています。日々の辛い練習や、苦しいことがあっても、勝つために最後まで共に戦った仲間がかけがえのない存在になりました。常総学院でバレーボールをした三年間は、たくさんの人と環境のおかげで、人としても大きく成長できた最高の時間でした。ありがとうございました。

一、二年生へ、自分自身を見つめ直すことを日々忘れず、勝負強いチームワー

クを磨いていってほしいです。強い気持ちがあるなら実行するのみ。最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。



男子バレーボール部

関東大会出場を果たして 三年一組 野口 明生

五月に行われた関東大会県予選会は、ベスト4が関東大会への出場権を得ることが出来ます。それまで県大会ベスト8であった私達は、関東大会出場を目標に掲げ、練習に励みました。

そして、みんなの強い気持ちや実を結び、十年ぶりの関東大会出場を果たしました。日頃からご指導いただいている顧問の飯塚先生、宮本コーチ、いつも支え協力してくれる家族へ結果で恩返しが出来ました。

そして十一月の春高バレー県予選会でも、ベスト4で引き継ぎました。

後輩たちには、もっと声掛けをすることと、チームワークを大切にすること

とを意識してやっていって欲しいと思います。そして練習を重ね、ベスト4以上の成績を残してもらいたいです。



水 泳 部

大会を終えて 三年二組 佐藤 大旺

私たち水泳部の今年の一年を振り返ると、県大会上位入賞はもちろんのこと、インターハイ優勝・入賞、茨城国体では上位入賞を果たすなど好成績を残すことが出来ました。選手全員が常に家族や先生、コーチや仲間、応援してくださる周りの方々に感謝の気持ちを忘れずに、日々努力し、競技に励んできました。競技面以外でも大きな声で挨拶する、礼儀正しく生活するなど、人間的成長から競技力向上へとつなげてこられたと思います。高校の部活動が一番濃厚で苦しく辛いことも多いですが、しかし、何事にも恐れることなくチャレンジできるのも高校時代だと思えます。今、自分達が全力で競技に励めることへの感謝、周囲の人々の協力があるから



女子バレーボール部

こそ競技が成り立つことを忘れず、一日一日を大切に後悔なく終えられるよう頑張ってください。「今しか見られない夢だから、頑張るだけの価値がある」



吹奏楽部

「全国大会を終えて」

三年五組 大竹 悠斗

私たち吹奏楽部は、顧問の本図先生のご指導のもと、全力で部活動に取り組んでいます。「才能より努力」をモットーに、全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞することを目標にし、また社会に出ても恥ずかしくない人間に成長することを目指しています。やる時はやる、楽しむときは楽しむというようなメリハリをつけ、部員が笑顔で活動できるバンドづくりを心がけています。その努力の成果もあり、今年も無事、四年連続二十一回目となる全日本吹奏楽コンクールに出場する事が出来ました。やはり全国大会となると、会場の広さ、客の数、雰囲気など、何もかも

が違いました。結果として、目標には届かず悔しい思いをしましたが、全国大会という素晴らしい舞台で、私たちにできる最高の演奏が出来たことを誇りに思っています。

吹奏楽部は来年度以降も「全国大会金賞」を目指して努力していきます。これからも応援よろしくお願いいたします。



競技かるた部

「全国大会を終えて」

三年十組 花田 るな

私たち競技かるた部は今年、全国高等学校総合文化祭、全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会の二つの全国大会に挑みました。映画「ちはやふる」でも扱われていたかるたの聖地・近江神宮で行われる全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会は、創部以来ずっと目標としてきた大会です。「今年こそ出場する」という目標を達成するため、部員全員で日々努力と練習を重ねてきました。目標としてきた全国大会出場は果たせたものの、試合の中で全国の強豪た

ちとの間にある力の差を痛感しました。競技かるた部の次の目標は当たり前前に全国大会出場のできる部にする事、そして全国大会でも勝ち上がることが出来る部にあることです。八月で三年生が引退し、新体制となりました。後輩たちには、これまで先輩たちの作ってきた伝統を守りつつ、進化していったってほしいです。今後も応援よろしく願います。



写真部

三年間の集大成

三年三組 関口 優飛

私は写真部として先日の第二十六回関東地区高校写真展に出場させて頂きました。写真部は菅谷先生のご指導の下、部員全体での撮影会や学校行事の記録を行っています。私は普段から野球部の活躍を注目しており、高校野球をする三年間を最高の思い出として残せるように撮影に力を入れてきました。私の作品が本県代表作品として関東地区高校写真展に出品できて、努力がようやく実ったという気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。



ゴルフ部

大切なこと

二年八組 中村 友香

私は、ゴルフをする上で、諦めないことと感謝の心を持つことを大切にしています。ミスをして落ち込むこともありません。でも、ゴルフを一番最初に教えてくれた父を始め、コーチや顧問の先生方等周りで支えて下さっている方々のお陰で、ゴルフをできています。諦めずに戦うことができます。これからもこの二つを大切にして頑張りたいです。

JRC部

カシ子児への寄付活動について

JRC部顧問 菅野 恵

今年度より常総学院高校JRC部の活動の一環として、ザンビアにある孤児院カシ子児の家への寄付活動を行わせて頂くことになりました。寄付活動は郵送費の捻出が困難であったため今まで実施できずにいましたが、この度有難くも常総学院同窓会及び土浦ライオンズクラブのご協力を頂けることとなり、部員共々非常に喜んでおります。今後も寄付活動を継続し、ザンビアの子どもたちに少しでも幸せを運べるよう尽力して参ります。

部活動活動実績

硬式野球部

第71回関東地区高校野球茨城県大会 ベスト4
第72回秋季関東地区高等学校野球茨城県大会 優勝
第72回秋季関東地区高等学校野球大会 出場
第101回全国高等学校野球選手権記念茨城大会 ベスト8

男子バドミントン部

関東高等学校バドミントン大会 茨城県予選会
団体 優勝(関東大会出場33年連続33回目出場)
全国高等学校バドミントン選手権大会茨城県南予選会
団体 県大会へ推薦出場
ダブルス 優勝(吉田・阿部歩)
ダブルス 準優勝(大熊・塚越)
ダブルス 3位(吉田・根本)
ダブルス 4位(福永・杉浦)
ダブルス ベスト16(三浦・大吉)
シングルス 優勝(福永 旺洋)
シングルス 準優勝(大吉 慧)
シングルス 3位(杉浦 希実)
シングルス 4位(沼尻 大星)
シングルス ベスト8(鶴田 悠斗)
シングルス 17位(吉田 瑞樹)
関東高等学校バドミントン大会
団体 ベスト8
全国高等学校バドミントン選手権大会茨城県予選会
団体 準優勝

ダブルス 優勝(吉田・阿部歩)
ダブルス 準優勝(鶴田・阿部壮)
ダブルス ※インターハイ出場
ダブルス 準優勝(鶴田・阿部壮)
ダブルス ※インターハイ出場
ダブルス ベスト8(塚越・大熊)
ダブルス ベスト16(沼尻・片桐)
ダブルス ベスト16(吉田・根本)
ダブルス ベスト16(福永・杉浦)
ダブルス 準優勝(阿部 歩人)
シングルス 4位(吉田 純)
シングルス 4位(吉田 純)
シングルス ベスト8(大熊 青葉)
シングルス ベスト8(阿部 莊登)
シングルス ベスト8(福永 旺洋)
シングルス ベスト16(沼尻 大星)
シングルス ベスト16(塚越 達也)
シングルス ベスト16(杉浦 希実)
シングルス ベスト32(吉田 瑞樹)
シングルス 2回戦(鶴田 悠斗)
第16回茨城県私学高等学校バドミントン大会
団体 準優勝
全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会
ダブルス ベスト64(吉田・阿部歩)

ダブルス 出場(阿部壮・鶴田)
全日本ジュニアバドミントン選手権大会茨城県予選会
ダブルス 優勝(吉田・阿部歩)
※JOC大会出場

ダブルス 3位(鶴田・阿部壮)
シングルス 3位(阿部 歩人)
シングルス 3位(阿部 歩人)
出場(福永 旺洋)
第24回全国私学高等選抜バドミントン大会
48チーム中 33位
第57回関東総合バドミントン選手権大会
ダブルス 出場(吉田・阿部歩)
シングルス ベスト32(吉田 純)
JOCジュニアオリンピックカップ第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス 出場(塚越・阿部歩)
新人バドミントン大会関東南地区予選会
団体 県大会へ推薦出場

ダブルス 推薦(阿部壮・鶴田)
ダブルス 優勝(塚越・阿部歩)
ダブルス 3位(吉田・根本)
ダブルス 3位(福永・杉浦)
ダブルス 3位(阿部 莊登)
ダブルス 推薦(福永 旺洋)
ダブルス 推薦(阿部 歩人)
ダブルス 優勝(塚越 達也)
ダブルス 準優勝(杉浦 希実)
シングルス 3位(大吉 慧)
シングルス 3位(鶴田 悠斗)
シングルス ベスト8(根本 遼平)
シングルス ベスト16(吉田 瑞樹)
茨城県バドミントン新人大会
団体 優勝(関東選抜大会出場)

ダブルス 優勝(塚越・阿部歩)
ダブルス 4位(阿部壮・鶴田)
ダブルス 4位(福永・杉浦)
ダブルス 6位(福永・杉浦)
ダブルス ベスト16(吉田・根本)
ダブルス 3位(阿部 莊登)
ダブルス 3位(阿部 莊登)
シングルス 4位(塚越 達也)
シングルス 5位(阿部 希実)
シングルス 7位(福永 旺洋)
シングルス 8位(阿部 歩人)
シングルス ベスト16(大吉 慧)
シングルス ベスト16(鶴田 悠斗)
シングルス ベスト32(吉田 瑞樹)
シングルス 出場(根本 遼平)
関東高等学校選抜バドミントン競技大会
ダブルス 出場(塚越・阿部歩)
第74回国民体育大会バドミントン競技大会
ダブルス 9位(吉田・阿部歩)

女子バドミントン部

関東高等学校バドミントン大会 茨城県予選会
団体 優勝(関東大会出場10年連続31回目出場)
全国高等学校バドミントン選手権大会茨城県南予選会
団体 県大会へ推薦出場

ダブルス 優勝(鈴木・新田光)
ダブルス 準優勝(青木・谷川)
ダブルス 3位(小吹・佐藤)
ダブルス 4位(古茂田・石橋)
ダブルス ベスト8(大内・鴨原)
ダブルス 準優勝(谷川 莉奈)
ダブルス ベスト16(大内 華奈)
ダブルス ベスト16(古茂田 倭子)
ダブルス ベスト16(石橋 結子)
ダブルス ベスト16(鴨原 嘉奈子)
関東高等学校バドミントン大会
団体 優勝(26年ぶり9回目)
全国高等学校バドミントン大会茨城県予選会
団体 優勝(インターハイ出場)
ダブルス 優勝(新田風・比嘉)
ダブルス ※インターハイ出場
ダブルス 3位(小吹・佐藤)
ダブルス 4位(鈴木・新田光)
ダブルス 4位(青木・谷川)
ダブルス ベスト8(古茂田・石橋)
ダブルス ベスト8(大内・鴨原)
ダブルス ベスト16(鴨原 嘉奈子)

ダブルス 優勝(新田風・比嘉)
ダブルス ※インターハイ出場
ダブルス 3位(鈴木 幸恵)
ダブルス 4位(佐藤 芽穂)
ダブルス ベスト8(新田 光)
ダブルス ベスト8(新田 光)
ダブルス ※インターハイ出場
ダブルス 3位(鈴木 幸恵)
ダブルス 4位(佐藤 芽穂)
ダブルス ベスト8(新田 光)
ダブルス ベスト8(新田 光)
シングルス 3位(比嘉 悠姫奈)
シングルス ベスト16(大内 華奈)
シングルス ベスト16(古茂田 倭子)
シングルス ベスト16(谷川 莉奈)
シングルス ベスト16(石橋 結子)
シングルス ベスト16(鴨原 嘉奈子)
シングルス ベスト32(小吹 久瑠実)
第16回茨城県私学高等学校バドミントン大会
団体 準優勝
全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会
団体 ベスト32
ダブルス ベスト64(比嘉・新田風)
シングルス ベスト32(青木 もえ)
第24回全国私学高等選抜バドミントン大会
8位/48チーム中
全日本ジュニアバドミントン選手権大会茨城県予選会
ダブルス 優勝(青木・谷川)
※JOC大会出場

ダブルス 準優勝(古茂田・石橋)
シングルス 優勝(古茂田 倭子)
※JOC大会出場

シングルス 3位(谷川 莉奈)
シングルス ベスト8(鴨原 嘉奈子)
シングルス 出場(大内 華奈)
シングルス 推薦(青木 もえ)
※JOC大会出場

JOCジュニアオリンピックカップ第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス 準優勝(青木・谷川)
シングルス 2回戦進出(青木 もえ)
第74回国民体育大会バドミントン競技大会
シングルス 3位(青木 もえ)
新人バドミントン大会関東南地区予選会
団体 県大会へ推薦出場

ダブルス ベスト8(大内・鴨原)
ダブルス 推薦(青木・谷川)
ダブルス 推薦(古茂田・石橋)
ダブルス 推薦(古茂田 倭子)
シングルス 優勝(古茂田 倭子)
シングルス 準優勝(石橋 結子)
シングルス 3位(大内 華奈)
シングルス 4位(谷川 莉奈)
※県大会出場
シングルス 4位(谷川 莉奈)
※県大会出場
シングルス ベスト8(鴨原 嘉奈子)
推薦(青木 もえ)
※県大会出場
茨城県バドミントン新人大会
団体 優勝(関東大会出場)
ダブルス 優勝(青木・谷川)
ダブルス 準優勝(古茂田・石橋)
※関東大会出場
ダブルス 優勝(青木 もえ)
※関東大会出場
ダブルス 4位(大内・鴨原)
※関東大会出場
シングルス 3位(古茂田 倭子)
シングルス 4位(石橋 結子)
シングルス 5位(大内 華奈)
シングルス ベスト16(谷川 莉奈)
シングルス ベスト16(鴨原 嘉奈子)

剣道部

県南春季剣道大会
男子団体 A 3位

男子団体 B ベスト8
 女子団体 3位
 秋季県南地区剣道大会
 女子個人 準優勝
 茨城県剣道勝ち抜き大会
 男子団体 ベスト8

■ 駅伝部

第74回茨城県陸上競技選手権大会

女子10000m 2位【小松澤 真穂】
 女子5000m 7位【小松澤 真穂】
 女子10000m 4位【山口 華奈】
 女子15000m 7位【山口 華奈】

第48回茨城県高等学校陸上競技個人選手権大会

女子1500m 7位【山口 華奈】
 夏季県南競技会
 3000m障害 1位【遠藤 世望】
 3000m障害 2位【宮崎 継留】
 3000m障害 3位【武田 悠】
 3000m障害 4位【内田 有】
 1500m 5位【原澤 知宏】
 1500m 8位【今井 裕貴】
 1500m 1位【小松澤 真穂】
 1500m 4位【山口 華奈】
 1500m 5位【根本 梨里加】
 1500m 7位【田中 茉奈】

第92回関東陸上選手権大会

女子10000m 9位【小松澤 真穂】
 女子5000m 出場【小松澤 真穂】
 県南地区陸上競技新人大会
 男子3000m障害 優勝【内田 有】
 男子5000m 6位【内田 有】
 男子5000m 7位【今井 裕貴】
 男子1500m 8位【田中 茉奈】
 女子1500m 6位【根本 梨里加】
 女子3000m 7位【根本 梨里加】
 女子3000m 8位【山口 華奈】

茨城県高等学校駅伝競走大会

男子 総合13位
 【遠藤・宮崎・内田・原澤・中原・横田・今井】
 女子 総合4位 ※関東大会に出場
 【根本・小松澤・山口・坂西・田中】

■ 水泳部

第95回日本選手権水泳競技大会 競泳競技

1000m・2000m背泳ぎ 出場【忍田 尊】
 アーティスティック競技 出場【笹川 夢帆】
 出場【岡野 日和】

第42回茨城県高校春季水泳競技大会

500m背泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 2000m自由形 3位【徳淵 凜】

500m背泳ぎ 3位【佐藤 大旺】
 1000mバタフライ 8位【秋葉 郁也】
 500m自由形 1位【猿山 翔太】
 1000m自由形 1位【猿山 翔太】
 2000m個人メドレー 7位【永見 夏々帆】
 1000mバタフライ 3位【福岡 純平】
 1000m平泳ぎ 4位【赤川 遥華】
 2000m個人メドレー 5位【赤川 遥華】
 2000m個人メドレー 7位【小沼 駿之介】
 1000mバタフライ 5位【広瀬 心優】
 1000mバタフライ 6位【井上 理高】
 男子2000mリレー 1位
 【井上理・井上輝・徳淵・猿山】
 男子2000mメドレーリレー 1位
 【佐藤・徳淵・福岡・猿山】

第55回茨城県民総合体育大会水泳競技大会

男子総合 2位
 女子総合 2位
 1000m平泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 2000m平泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 500m自由形 1位【猿山 翔太】
 1000m自由形 1位【猿山 翔太】
 ※茨城県高校新記録・大会新記録
 1000m自由形 1位【猿山 翔太】
 500m自由形 1位【徳淵 凜】
 2000m自由形 1位【徳淵 凜】
 ※大会新記録
 50m自由形 1位【猿山 翔太】
 100m自由形 1位【猿山 翔太】
 4x100mメドレーリレー・4x100mフリーリレー
 4x200mフリーリレー
 ※大会新記録
 100mバタフライ 7位【福岡 純平】
 200mバタフライ 6位【福崎 純平】
 200m背泳ぎ 2位【小野 舞夏】
 200m自由形 3位【笹川 夢帆】
 1500m自由形 5位【軍司 壮太】
 2000m自由形 6位【三ツツミ 奏太】
 2000m自由形 8位【薄 隼太】
 1000m平泳ぎ 2位【赤川 遥華】
 2000m平泳ぎ 3位【赤川 遥華】
 1000m背泳ぎ 2位【忍田 尊】
 2000m背泳ぎ 2位【忍田 尊】
 1000m平泳ぎ 5位【井上 輝星】
 2000m平泳ぎ 7位【井上 輝星】
 400m個人メドレー 8位【小沼 駿之介】
 1000mバタフライ 6位【広瀬 心優】
 2000mバタフライ 8位【広瀬 心優】
 1000mバタフライ 3位【芹澤 豪勇】
 2000m自由形 6位【芹澤 豪勇】
 男子4x100mフリーリレー 1位
 【井上理・猿山・徳淵・忍田】
 男子4x100mメドレーリレー 1位
 【忍田・徳淵・福岡・猿山】

第70回関東高等学校水泳競技大会茨城県予選会

男子総合 2位
 女子総合 2位
 1000m平泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 2000m平泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 500m自由形 1位【猿山 翔太】
 100m自由形 1位【猿山 翔太】
 4x100mメドレーリレー・4x100mフリーリレー
 4x200mフリーリレー
 ※大会新記録
 100mバタフライ 7位【福岡 純平】
 200mバタフライ 3位【小野 舞夏】
 100m背泳ぎ 2位【小野 舞夏】
 200m背泳ぎ 2位【小野 舞夏】
 1500m自由形 8位【軍司 壮太】
 2000m自由形 6位【薄 隼太】
 2000m平泳ぎ 1位【赤川 遥華】
 1000m平泳ぎ 2位【赤川 遥華】
 1000m背泳ぎ 1位【忍田 尊】
 2000m背泳ぎ 1位【忍田 尊】
 1000m平泳ぎ 5位【井上 輝星】
 2000m平泳ぎ 7位【井上 輝星】
 400m個人メドレー 8位【小沼 駿之介】
 1000mバタフライ 6位【広瀬 心優】
 2000mバタフライ 8位【広瀬 心優】
 1000mバタフライ 3位【芹澤 豪勇】
 2000m自由形 6位【芹澤 豪勇】

第77回日本高等学校選手権水泳競技大会

4x100mメドレーリレー 4位入賞【徳淵 凜】
 1000m平泳ぎ 7位入賞【徳淵 凜】
 4x100mメドレーリレー 優勝【猿山 翔太】

第87回日本高等学校選手権水泳競技大会

4x100mメドレーリレー 4位入賞【徳淵 凜】
 1000m平泳ぎ 7位入賞【徳淵 凜】
 4x100mメドレーリレー 優勝【猿山 翔太】

第77回日本高等学校水泳競技大会関東地域予選会

1000mバタフライ 6位【芹澤 豪勇】
 2000m個人メドレー 6位【広瀬 心優】
 1000m平泳ぎ 6位【井上 輝星】
 2000m自由形 6位【井上 輝星】
 400m個人メドレー 6位【小沼 駿之介】
 1000mバタフライ 8位【広瀬 心優】
 2000mバタフライ 8位【広瀬 心優】
 1000mバタフライ 3位【芹澤 豪勇】
 2000m自由形 6位【芹澤 豪勇】

第70回関東高等学校水泳競技大会

男子4x200mフリーリレー 1位
 【徳淵・芹澤・猿山・忍田】
 女子4x100mフリーリレー 3位
 【笹川・小野・赤川・広瀬】
 女子4x100mメドレーリレー 2位
 【小野・赤川・広瀬・永見】
 女子4x200mフリーリレー 2位
 【小野・赤川・広瀬・永見】
 ジャパンオープン2019
 500・1000・2000m平泳ぎ 出場【徳淵 凜】
 500m・1000m背泳ぎ 出場【忍田 尊】

第42回茨城県高校春季水泳競技大会

500m背泳ぎ 1位【徳淵 凜】
 2000m自由形 3位【徳淵 凜】

4×100mフリーリレー 出場【忍田 尊】
 4×200mフリーリレー 出場【井上 輝星】
 4×200mフリーリレー 出場【井上 輝星】
 4×100mフリーリレー 出場【井上 理高】
 ワールドカップ2019東京大会 出場【忍田 尊】
 50m背泳ぎ 出場【忍田 尊】

第42回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会アテイスティックスイミング競技
 ソロ・デュエット 出場【笹川 夢帆】
 チームデュエット 3位【笹川 夢帆】
 チームフリーリレー 出場【岡野 日和】
 チームフリーリレー 出場【岡野 日和】
 日本アテイスティックチャレンジカップ2019
 ソロ・デュエット・チーム 出場【笹川 夢帆】

第1回FINA世界ユース選手権大会アテイスティックスイミング競技
 ミックスデュエットルーティン 3位【岡野 日和】
 少年男子A
 200m平泳ぎ 4位入賞【徳淵 凛】
 50m自由形 3位入賞【猿山 翔太】
 100m平泳ぎ 7位入賞【忍田 尊】
 4×100mメドレーリレー6位入賞【徳淵・猿山】
 4×200mフリーリレー7位入賞【徳淵 凛】

第10回アジアエージグループ選手権2019平泳ぎ ※日本代表
 50m平泳ぎ 優勝【徳淵 凛】
 100m平泳ぎ 優勝【徳淵 凛】
 200m平泳ぎ 優勝【徳淵 凛】

第45回茨城県高等学校新人水泳競技大会
 50m自由形 1位【忍田 尊】
 50m自由形 7位【井上 理高】
 100m自由形 3位【井上 理高】
 100m自由形 6位【薄 隼太】
 100m自由形 5位【岡野 日和】
 100m自由形 1位【井上 輝星】
 50m背泳ぎ 4位【福崎 純平】
 50m背泳ぎ 6位【大石 優斗】
 100m背泳ぎ 6位【福崎 純平】
 200m背泳ぎ 1位【小野 舞夏】
 50m平泳ぎ 1位【井上 輝星】
 50m平泳ぎ 4位【広瀬 心優】
 50mバタフライ 1位【忍田 尊】
 50mバタフライ 5位【赤川 遥華】
 100mバタフライ 1位【広瀬 心優】
 200m個人メドレー 4位【小沼 駿之介】
 200m個人メドレー 3位【赤川 遥華】
 男子4×50mフリーリレー 1位【井上理・忍田・福崎・井上輝】
 男子4×50mメドレーリレー 1位【井上理・忍田・福崎・井上輝】

女子4×50mフリーリレー 1位【赤川・岡野・小野・広瀬】
 女子4×50mメドレーリレー 1位【小野・赤川・広瀬・岡野】

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

サッカー部
 関東高等学校サッカー大会茨城県予選 ベスト16
 全国高等学校総合体育大会茨城県予選 ベスト14
 第98回全国選手権全国高等学校サッカー選手権大会茨城県予選 ベスト16
 IFAリーグ1部 7位/10チーム中
 IFAリーグ3部 11位/20チーム中
 IFAリーグ1部 6位/8チーム中

弓道部
 茨城県高等学校弓道春季大会兼 茨城県予選会
 関東高等学校弓道大会茨城県予選会
 全国高等学校弓道大会茨城県予選会
 男子団体 2位【羽鳥・太田・恵郷・両角・鈴木・青柳】
 男子個人 2位【青柳 賢史朗】
 ※宮崎インターハイ出場
 関東高等学校弓道個人選手権茨城県予選会
 男子個人 6位【青柳 賢史朗】
 ※関東大会出場
 全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
 男子個人 出場【青柳 賢史朗】
 第38回関東高等学校弓道個人選手権茨城県予選会 出場【青柳 賢史朗】
 茨城県高等学校弓道新人大会県南予選会
 女子団体 ※県大会出場
 男子団体 ※県大会出場
 女子個人 5位【米村 和音】

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

サッカー部
 関東高等学校サッカー大会茨城県予選 ベスト16
 全国高等学校総合体育大会茨城県予選 ベスト14
 第98回全国選手権全国高等学校サッカー選手権大会茨城県予選 ベスト16
 IFAリーグ1部 7位/10チーム中
 IFAリーグ3部 11位/20チーム中
 IFAリーグ1部 6位/8チーム中

弓道部
 茨城県高等学校弓道春季大会兼 茨城県予選会
 関東高等学校弓道大会茨城県予選会
 全国高等学校弓道大会茨城県予選会
 男子団体 2位【羽鳥・太田・恵郷・両角・鈴木・青柳】
 男子個人 2位【青柳 賢史朗】
 ※宮崎インターハイ出場
 関東高等学校弓道個人選手権茨城県予選会
 男子個人 6位【青柳 賢史朗】
 ※関東大会出場
 全国高等学校総合体育大会弓道競技大会
 男子個人 出場【青柳 賢史朗】
 第38回関東高等学校弓道個人選手権茨城県予選会 出場【青柳 賢史朗】
 茨城県高等学校弓道新人大会県南予選会
 女子団体 ※県大会出場
 男子団体 ※県大会出場
 女子個人 5位【米村 和音】

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

女子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

男子バレーボール部
 第73回関東高等学校男女バレーボール大会茨城県予選会兼全国高等学校総合体育大会男女バレーボール競技大会茨城県予選会兼茨城県バレーボール高等学校選抜大会予選会 3位※関東大会出場
 春の高校バレー第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会 茨城県バレーボール高等学校選抜大会

陸上部

県南地区高等学校上競技大会
男子4×100mリレー [白井・高橋・廣田・高井]

女子4×100mリレー 出場[鮎原・佐々木・竹澤・岸]
女子走幅跳 3位 [鮎原 ころこ]

茨城県高校総体陸上競技大会
男子走幅跳 7位 [塩澤 仁康]

茨城県高等学校陸上競技個人選手権大会
共通女子三段跳 3位 [松村 有奈]

男子三段跳 8位 [塩澤 仁康]

女子三段跳 1位 [松村 有奈]

女子走幅跳 3位 [松村 有奈]

県南地区高等学校陸上競技新人大会
男子八種競技 1位 [塩澤 仁康]

女子走幅跳 2位 [塩澤 仁康]

女子三段跳 1位 [松村 有奈]

女子走幅跳 2位 [松村 有奈]

男子ダブルス ベスト8 [小林/鴻巣]

男子ダブルス ベスト8 [宮本/石塚]

女子ダブルス ベスト8 [齊藤/阿弥]

女子シングル ベスト8 [齊藤 彩織]

全国高校卓球選手権大会 県南地区予選会
男子団体 3位

全日本卓球選手権大会ジュニアの部県南地区予選会
男子ダブルス ベスト4 [鴻巣/宮本]

男子ダブルス ベスト16 [小林/後藤]

男子ダブルス ベスト16 [松尾/武井]

男子シングル ベスト4 [宮本 龍希]

男子シングル ベスト8 [小林 朋樹]

男子シングル ベスト40 [鴻巣 亮太]

男子シングル ベスト40 [後藤 大輝]

女子ダブルス 準優勝 [池田/岸野]

女子ダブルス ベスト8 [関谷/村上]

女子シングル ベスト8 [池田 ひかり]

全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選会
男子シングル ベスト32 [小林 朋樹]

男子ダブルス2位 トーナメント 優勝 [小林 朋樹]

男子ダブルス2位 トーナメント 優勝 [池田/岸野]

女子ダブルス3位 トーナメント 優勝 [池田/岸野]

女子ダブルス3位 トーナメント 優勝 [関谷/村上]

つくば市秋季卓球大会
女子シングル1部 優勝 [池田 ひかり]

茨城県高校卓球新人(団体)戦大会
男子団体 6位

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019
CHEER部門 3位

吹奏楽部
第59回茨城県吹奏楽部コンクール県南地区大会

第59回茨城県吹奏楽部コンクール 優秀賞

第25回東関東吹奏楽部コンクール 金賞 朝日新聞社賞

第67回全日本吹奏楽部コンクール 金賞 ※全国大会出場

第54回茨城県アンサンブルコンテスト県南地区大会

クラリネット八重奏 優秀賞

サクソフォーン四重奏 優秀賞

美術部
高校生国際美術展 佳作 [飯泉 翔弥]

演劇部
第33回県南A地区高等学校演劇祭 優良賞

茨城県高等学校総合文化祭総合同会式合同劇 出演 [伊藤 汐花]

写真部
茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 写真の部 優秀賞 [関谷 優飛]

JRC部
かすみがうらマラソン荷物預かり所ボランティア あしなが学生募金

JRC部
北関東三県支部青少年赤十字国際交流派遣(シンガポール)リーダーシップ・トレーニング・センター

書道部
四国大学・第48回全国高校書道展

茨城県総合文化祭
入選 [浅野 雅]

和洋女子大学・第17回読書大会
優秀団体賞

審査員奨励賞 [今井麻奈可]

特選 [浅野 雅]

全国書道連盟奨励賞 [薄 愛乃]

審査員奨励賞 [浅野 雅]

審査員奨励賞 [今井麻奈可]

審査員奨励賞 [関谷 理子]

特選 [小川 拓真]

特選 [湯本 未紀]

特選 [磯谷 友香]

特選 [市川 実波]

特選 [島田 茅夏]

特選 [菅野 咲希]

特選 [高木 杏子]

特選 [原 瞳実]

特選 [吉川 侑里]

特選 [浅野 雅]

特選 [高木 杏子]

競技かるた部

第43回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた選手権大会

茨城県予選会

準優勝 [花田 るな]

ベスト8 [尾上菜々子]

ベスト8 [浅井 優花]

ベスト16 [野原 麻美]

全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

準優勝 [笹沼 芽]

個人戦 優勝 [黒澤 舞美]

D級 優勝 [関 祐菜]

D級 3位 [尾上菜々子]

D級 4位 [尾上菜々子]

常総学院教育学会活動報告

ご挨拶

常総学院教育学会 会長 菅谷 博之

常総学院教育学会の会員の皆様におかれましては、日々の教育活動に邁進されていることと拝察いたします。本校におきましては、特に今年は大学入試改革の流れを受け、10月末までに準備してきた英語の民間試験利用のための共通ID申請も、11月に入り急転直下で英語の民間試験活用見送りが報じられ、必要がなくなり現場はいろいろと振り回されている今日この頃です。

常総学院教育学会の在り方も、学校関係者や本会の役職の方々とは協議した結果、常総学院同窓会の下部組織でもあるため、同窓会誌の紙面を通し、今年の活動を報告して頂くことになりました。原稿の募集は会員各位へメール等でご案内し、今回4名の会員の方の活動報告を掲載させていただきます。

本会の活動に関しましては、まだ発足して間もない会でもありいろいろと皆様方のご意見、ご要望をお伺いし、運営していきたいと思っておりますので、今回の紙面をご覧になり、忌憚のないご意見、ご感想を頂きたいと思っております。

最後に、今年新たに教育関係者となられた卒業生の方々におかれましては是非とも下記のメールアドレスへご連絡ください。教育学会の会員として登録させていただきます。会費等は一切かかりません。教育学会の情報を今後お届けする予定です。今後共よろしくお願いたします。

教育学会連絡先メールアドレス (joso_edu@joso.ac.jp)

令和元年11月12日記

2019年度 薬剤師国家試験の指導を行って

横浜薬科大学化学研究室 講師 鹿本 泰生

私が所属する横浜薬科大学の研究室では、5・6年生で研究室に所属し、卒業研究を行う。6年生になってからは、研究はまともに入り、卒業試験や国家試験のための勉強のウエイトが高くなる。毎年、我々の研究室の学生の一部は、6年生になってからの約1年間は研究室に集まり、勉強をしている。お互い教えあうことで効率的に勉強ができるメリットがあるが、何より共通の目標に向かっていくという一体感がそうさせるのだと思っている。また、長期間におよぶ勉強は、どうしても途中で心が折れそうになるが、お互い監視(?)することでサボらずに続けることができる。

昨年から今年にかけて在籍したNさんは常総学院高校の出身で、つまり私の後輩である。Nさんは成績も良かったので卒業試験、国家試験共に大丈夫だとは思っていたが、薬剤師国家試験は運や素質だけで合格できるものではない。やはりきちんと勉強して多くの知識を身につけて実力をつけないと突破できない。Nさんも研究室の仲間と共に毎晩夜9時、10時まで勉強をしていた。付き合うこちらも大変であったが、卒業試験、国家試験に合格して喜び顔を見た時には、学生達の努力が報われて本当に良かったとこちらも嬉しくなった。試験に合格するためには、弱点を克服して長所を伸ばすということにつきるが、最終的には気持ちが負けないことが大事である。個々の学生の能力を最大限発揮できるよう環境を整えることが我々の務めであると考えて次第である。



伝えていきたいこと

昭和女子大学附属昭和高等学校 教諭 堤 絵里子

現在都内の私立の中高一貫校で、高校三年生の担任をしております。高校三年生は今年で二年連続担当させていただいているので、受験の大体の流れは把握できるようになりました。しかし、生徒一人ひとりに合った進路を考えるのは未だに慣れず、日々周囲の先生方に支えてもらい、試行錯誤しながら取り組んでおります。特に、受験指導は当然のことながら、今後の人生においてどのように生きていくかを真剣に考えさせることも大きな課題だと思っております。

この時期の生徒達は、他の人と自分を比較して落ち込んだり、周りの進路が決まっているのに自分がなかなか決まらずに焦り、気持ちが減ってしまったりなど、精神的に他の学年とは異なった苦しさを体験しています。だからといって、少しでもその気持ちを軽くしてやりたいと考え、ベテランの先生方と同じようなことを言っても生徒達には絶対に響きません。自分の経験したことや、実際に感じたことがない思いを口にしても生徒達には見抜かれてしまうからです。そのため、嘘のない、今の自分が自信をもって言えることを、生徒達には伝えるようにしています。自分がこれまで生きてきた中で悔しかったことや、それをどうやって克服したかなど、今の自分を形作ってきたものを話しています。そして、卒業してからの長い時間をどのように使えるかは、これまでに自分が物事にどのように取り組んできたかといった、目には見えない部分にかかっているということを繰り返し伝えるようにしています。

高校三年生では、希望通りの進路が決まり意気揚々としている者もいれば、自分が望んだ進路にうまく結びつけられなかった者もいます。しかし、自分がのぞんだ結果に結びつかなくて泣くほど悔しい思いをしたとしても、泣けるほど真剣に取り組んだ経験は確実に生徒達にとって次を目指す力になっています。もちろん、誰もがすぐに前向きに挑戦できるとは限りません。それでも、時間がかかったとしても、そのときの経験で得た粘り強さや諦めなかった姿勢は何らかの形で必ず次に活かされています。また、努力する姿勢を見ている家族や友人、学校や塾の先生などさまざまな人達が、その子にさまざまな言葉をかけてくれます。その言葉を受けながら、自分のなかで整理し、次へと活かされることでその生徒にとって最も良い進路が新たに開かれることも少なくありません。

最終的に、自分がこの先どう生きていくかは生徒自身が考えていかななくてはならない問題です。私は、その問題に対して考えるきっかけを少しでも多く与えられるように、朝礼や終礼、授業や休み時間などで意識して話しています。いきなり理想の大人になるのではなく、今の自分の積み重ねが先の自分を作っていくこと、表立って目には見えない失敗から学んだ経験や悔しさに耐えながら取り組んだ日々の積み重ねなどの大切さを生徒達に伝えていきたいと思っております。生徒達にとって、卒業後の支えとなるものを残していけるよう、限られた時間のなかで今後も取り組んでまいります。



常総学院教育学会活動報告

「大学職員としての心構え～充実した学生生活に寄与するために～」

学校法人帝京科学大学 会計課 経理係 屋代 翔



大学を卒業後、東京都足立区にあります帝京科学大学に入職し、入試・広報課の職員として高校訪問など広報活動に従事していました。母校である常総学院高等学校にも足を運ばせていただきました。現在は、会計課の経理係に異動となり、大学法人全体の財務管理や決算作業を担当しています。一見、全く異なる部署のようですが双方とも大学の経営に直結しており、学生募集の経験を活かしながら日々、健全な経営基盤の構築に取り組んでいます。

しかし、本学も例に漏れず、近年の学生獲得競争は激化の影響を大きく受けています。大学独自のポジションを作り、魅力的にアピールすることがますます重要になっています。その一方で、大学数の増加やSNSなどの広報ツールが広く利用される情報過多な環境の中、受験生が自身のニーズと大学の特色が適しているか判断が難しくなり、ミスマッチな入学や志願者の減少を引き起こしてしまう可能性も考えられます。そのため広報は学びの価値を言語化し、受け手に正確に伝えるということを意識し、専攻分野、カリキュラム、進路など受験生の視点に立った情報設計を心掛けています。

そのような適切な広報活動の結果、入学した学生達が充実した学生生活を送ることができるよう、財政面から大学運営に関わっていくことが会計課の役割になります。新学部・学科設立や施設の拡充・修繕、教育関係システムの導入など様々な事業を行う上で、短期的な財務状況の分析に留まらず、中長期的な計画を踏まえた試算を行う必要があります。そのためには、会計に関する知識だけでなく、他の課との連携はもちろん自分自身が様々な知識を身につける必要があり、一筋縄ではいかない場合も多々あります。しかし、大学の経営に携わるといことは、学生の充実した学生生活に寄与できるということでもあります。ある学生が「受験生の時から今までお世話になりました。この大学に入学して本当によかったです。」と、すでに会計課に異動になった私のもとに卒業の報告に来てくれた時は涙ぐむほど嬉しかったことを覚えています。

学生からの感謝の言葉は何よりもやりがいになります。これからも教育に携わる者として、受験生や学生の輝かしい未来のための助力ができればと思います。

常総学院における新たな教育実践

常総学院中学校 教諭 祐源 愛

今回このような場で、常総学院の取り組みを報告させていただけること、感謝いたします。特に、「ICT 機器の利用」と「AL 型授業」に関する実践に焦点をあてて本校での取り組みをご報告いたします。

2019年12月5日、政府は、全国の小中学校の全ての学校において1人1台のPC・タブレット端末がある環境を整えることを政策として発表しました。まさに今、日本の教育が大きく変わろうとしています。常総学院においては、それに先んじてICT環境の整備とAL型授業の実践を進めてまいりました。

まず、ICT環境についてご紹介いたします。例えば中学校においては、2019年度現在生徒2人に1台のPCが整備されており、全館Wi-Fiが通じております。各教科・諸行事での生徒によるPC活用も進み、PCを学校で使わない日は無い、と言えるくらいではないでしょうか。各教室に整備されているBigPadや、教員・生徒に配布されているG-suiteアカウントの活用も、さまざまな教科・場面で活発になってきているように思います。

次に、AL型授業についてご紹介いたします。単体の授業においても、ALを取り入れた授業が一般化し、特に最近では他学年と合流したビブリオバトル、教科横断での授業などに挑戦しています。新たなことにどんどんチャレンジしていこう、という雰囲気为学校全体にあるように感じます。

このように述べてまいりましたが、ICTにおいても、ALにおいても、「PCを使う」「グループ学習をする」ことが目的ではありません。それらは道具・手法であり、それらを組み込むことで、生徒たちがよりよい学びを実現できることこそが目的だと思います。加えて、従来の教育方法を否定することでも無いと思います。従来の教育方法から学ぶべきものがあることは明白です。それを否定するわけではなく、ただ、そこに新たな時流として求められる観点・手法を取り入れることが大事なのではないでしょうか。

このような新たな教育の模索は、決して個人でできることではありません。是非、この教育学会という貴重なネットワークの中で、実践や悩みを共有し教育の模索をさせていただきたいと思っております。どうぞ皆様母校に帰られる際には、お話を伺わせてください。

末筆ながら、会員の皆様のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



進路指導室より

進路指導室長 菅谷 博之

今年度の大学進学概況・・

国公立大学へ135名、GTMARCHに146名が合格！

昨年度の大学入試の状況を見ると、東京大学法学部を含む国公立大学に135名と大幅に合格者を増やすことができました。特に東京大学は、法学部への推薦入試による合格であり、募集人員10名の内の1名に入ることができました。この生徒は、特進選抜コースに在籍し、3年間部活動と勉強を両立し、特に部活動では、世界選手権大会にも出場し優秀な成績を収めました。私立大学においても、入学者の定員の厳格化により、厳しい入試になると再三伝えられておりましたが、本校生はその状況を跳ねのけ、最難関の慶応大学医学部を始めとする、早慶上智に28名、GTMARCHに146名が合格しております。さらに、医学部医学科においても、国立6名を含む計15名が合格を果たしました。特に筑波大学医学部医学科に同一年度に4名の合格は、開校以来最多の合格者数となっております。

大学入試改革を受けて本校の取り組み

「大学入学共通テスト」の対策

昨年末、文部科学省より2020年度に始まる大学入学共通テストにおいて、「英語の外部試験の導入は見送り、2024年度より新たな英語試験を導入」、「一部教科への記述式の導入の見送り」が発表されました。文部科学省が入試改革の目玉としていた2本柱を失うことで、大学入学共通テストは、結局これまでの大学入試センター試験と同じになると勘違いする受験生も多いと思いますので、十分注意が必要です。しかし、全体としての問題傾向は、試行調査の問題と大きくは変わらないと思われます。そのため受験生は、試行調査の問題を必ず見直しておくことが不可欠です。

大学入試改革に関してメディアを通して、さまざまな情報が流れています。本校においても英語の外部試験の対応でかなり振り回されましたが、受験生は大学入試に関する最新情報を把握し、学校の授業を中心に勉強を進めてもらいたいと思います。

「AO入試」は「総合型選抜入試」へ 「推薦入試」は「学校推薦型選抜入試」へ

これまでのAO入試や推薦入試では、「学力が問われていない」等の批判があった為、次年度より、これまでのAO入試は「総合型選抜入試」、推薦入試は「学校推薦型選抜入試」と名称が変わり、小論文や共通テストなど学力を問う形式が必須となります。選考スケジュールも変わり、「総合型選抜入試」は、出願開始が、高3の8月から9月以降に、合格発表が11月1日以降となります。「学校推薦型選抜入試」は出願開始が11月以降に、合格発表が12月1日以降となります。これまでのAO入試では、合格発表が早く、8月中に合格者が出る状況もありましたが、次年度は、夏休み中にオープンキャンパスに参加でき、志望校をじっくり検討した上で受験準備ができるかと思えます。

「eポートフォリオ」の活用

受験生の主体性を評価する方法として、高校に在学中の活動や学習成果を記入する「eポートフォリオ」の活用が本校でも始まっています。今年度の大学入試では、10大学が実際の選抜に使っている状況です。

本校では、現高1,2年生全員に、専用ページを設定し記入を開始しており、さらに進路指導部内に専門の担当者において「eポートフォリオ」の題材を提供できるよう、進路講演会や看護体験等の校内外のイベントを企画、立案しています。さらに学校から提案する企画ばかりではなく、論文・発表、コンクールやコンテストの結果や研究者や専門家の訪問記録等も記入できます。早いうちから積極的にさまざまなイベントに参加し、活動実績を残してもらいたいと思います。

現高3生の皆さんへ -- 第一志望の大学へ初志貫徹を --

現高3生は、万一今年浪人してしまった際、新しい入試制度での受験となり、全国的にも今年度の受験は浪人を避けるため、低めの大学を数多く受験する超安全な受験をする傾向が見られます。3年生の皆さんは、大学の出願に際して、定員の厳格化等の情報に流され、安易に志望先を下げたのではなく、担任や進路指導の先生方とよく相談、情報を収集し、難しいといわれる大学の中にも必ず受かりやすい学部がありますので、第一志望の大学へ初志貫徹を目指し、春には満開の桜を咲かせてくれることを切望しております。朗報を楽しみにしています。

(2020.2.3 記)

常総学院高等学校 四年制大学別合格者数

令和元年10月1日現在

■国公立大学

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists various national/public universities and their graduation counts.

■文部省管轄外大学校

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists universities under the Ministry of Education's jurisdiction.

■医学部医学科 【国立・大学校】

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists medical departments in national/public universities.

【私立】

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private medical departments.

■私立大学

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities.

ア

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'A'.

カ

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'Ka'.

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities (continued).

夕

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'Sei'.

ナ

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'Na'.

ハ

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'Ha'.

マ

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities under category 'Ma'.

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities (continued).

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities (continued).

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities (continued).

Table with columns: 大学名, 2015年度, 2016年度, 2017年度, 2018年度, 2019年度, 5ヶ年. Lists private universities (continued).

※掲載されておりますのは合格した大学の一部です。

中学生便り

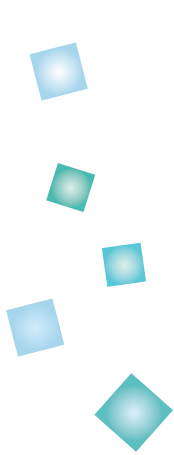
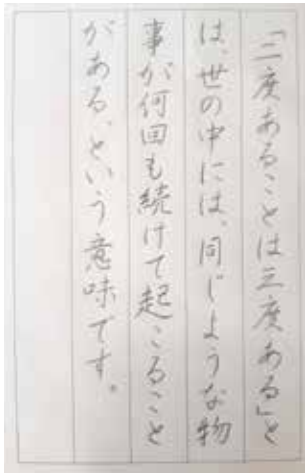
『書写と私』

1年1組 野村 友愛

この度、高円宮杯日本武道館書写書道大展開覧会において、日本武道館賞を受賞することができました。夜、一人で清書用紙に向かい、より良い作品を創り上げようとした時の気持ちを今でも鮮明に覚えています。

幼い頃から書写を続けてきた私にとって、「文字を書くこと」は生活の一部となっています。今は硬筆、万年筆、毛筆を用いて、美しい線や余白と文字の調和などを学んでいます。

これからも、さらに高みを目指していき、自分が納得できる作品を創り、日々精進していきます。



『決勝戦を振り返って』

1年3組 石川 翔悟

私は、土浦市民卓球大会で優勝することができました。その日、一番印象に残った決勝戦を振り返ろうと思います。相手の方は、他校の三年生で県大会にも出ている人でした。だからサーブだけでは点数が決まらず、ラリー戦が多くなりました。戦っているうちに私が相手のバックに長いサーブを出した後、スマッシュを打って得点を取った後、スマッシュを打って得点を取った。そのため、そのパターンになるようにたくさん狙いました。しかし、相手も私のパターンが分かっていたのか、戦術を変えてきました。焦って得点を連続で取られてしまう場面もありましたが、最終的には三対一で勝つことができました。

私は、この経験を生かした練習をたくさんして、これからも勝っていけるようにがんばっていききたいと思います。



第十四回創造性の育成塾

2年1組 梶川 広樹

よく、「こんな言葉を耳にします。「創造性は大切だ」と。しかしなぜそれほど創造性に重きを置くのか理解できていませんでした。

僕は七月末から一週間、静岡県・三島市で行われた第十四回創造性の育成塾夏合宿に参加しました。中学二年生が対象のこの塾では選考問題より全国から約四十人が選ばれ、ノーベル賞受賞者を始め、様々な科学者の方の講演や実験を受けることができます。この貴重な一週間で、創造性とは何かという問いに答えを出すことができました。そして全国規模の仲間との交流も大きな財産になりました。トップレベルの仲間の存在は今でも心の支えとなり励みでもあります。このことと同時に、高みを恐れず学んでいく勇氣を得ることができ、自信を持てるようになったという変化も大きな収穫だと感じています。かけがえのない経験をくださった方々に感謝し、学びを人生の大きな糧にしていきたいと思えます。



あいさつ運動に参加してみよう

2年3組 中山 耀太

「おはようございます」と、僕は定期テストの日を除いた毎朝、バス停の近くであいさつ運動をしています。参加者は、毎日平均二〜三人ほどなので、少々心細いと思う事もあります。もっと多くの人が参加してほしいです。

あいさつ運動の先生には、去年のサークル活動でお世話になり、今年はゆくりお話しすることもなかったのですが、あいさつをしながら先生とちよつとした話をするのも楽しいです。自分とはどちらかと言えば人見知りであいさつも苦手です。それでも参加して、大声であいさつをしているうちに苦手意識もなくなり、楽しくなっています。

寒い日や雨の日はつらい事もありますが、気持ちの良い一日のスタートが切れます。ぜひ学年問わず、多くの人に参加してほしいと思います。一緒にやりませんか。



「第30回伊藤園おーいお茶
新俳句大賞佳作特別賞を
いただいて」

3年2組 野口 結衣

皆さんが冬を感じる時は、どんな時ですか。

こたつを出した時、暗くなる時間が早くなってきた時、吐く息が白くなった時など、人それぞれ色んなことがあると思います。

私が冬を感じる時は、制服の衣替えが知らされた時です。制服に限らず、周りの人たちの服装がだんだんと暖かいものになっていく。

「失礼ね 太つてないわよ 重ね着よ」
これはそんな光景を思い浮かべながら考えたものです。私は「おーいお茶」のラベルに掲載されたいろいろな俳句を読むのが楽しくて、小さい頃から好きでした。そんな親しみのある「おーいお茶」の俳句に、佳作として選ばれたのはとても嬉しく、また、とても驚きました。これからも、俳句以外の作品を読んでいこうと思います。皆さんも、自分の思ったこと、感じたことなどを自由に自分の言葉で表現してみるのはいかがでしょうか。



「『2019年度全国こども
陶芸展 in かさま』にて
茨城県立笠間陶芸高等学校
学校長賞をいただいて
作品名『ポイ捨て、ダメ、絶対』」

3年3組 中村 琢磨

僕は、一年生からずっと美術サークルで活動をしています。美術サークルでは、絵画の他に陶芸にも取り組みます。陶芸というと、器を作るイメージがあるイメージがあるかと思いますが、サークルでは自由に好きなものを作品として創作します。

今年は自分でテーマを決めて作品を作り、「2019年度全国こども陶芸展 in かさま」に出品しました。今回、その作品を特別賞「茨城県立笠間陶芸高等学校学校長賞」に選んでいただきました。例年、全国各地から1500点以上の応募があると聞いていましたので、まさか賞がもらえるとは思っていませんでした。とても嬉しかったです。

僕は、最近の自然環境の破壊が気になっていたので、プラスチックを作品にしてみました。それが良かったのかなと思います。作品はシンプルですが、粘土を使い、ペットボトルに見えるように質感を表現するのが難しいことでした。

これからも、人にメッセージが伝わるような作品が作れるように頑張りたいです。



岩田先生
おめでとうございます！

令和元年八月八日から十一日までの四日間、富山県富山市で開催された全国教職員卓球選手権大会に参加してきました。この大会は、幼稚園から大学までの教育機関の教職員・OB当該種目の外部コーチに参加資格があり、団体・ダブルス・シングルス、それぞれ年代別（一般、サーティイからエイティまで）に種目が分かれている大会です。

管理職の先生方のご理解もあり、私はこの大会に平成二十年度より十二年連続で出場しています。過去に二回、年代別シングルスでベスト8に入賞していますが、その翌年は初戦敗退と安定した成績を残せずにおりました。昨年度も初戦敗退だったため、今年こそはと思い、挑戦者の気持ちを忘れず、自分から向かっていくことを心がけて試合に臨みました。結果は、フォーティシングルスで三位入賞でした。今年も、高校卓球部も新人戦茨城県大会で男子団体六位となりました。令和になって大変幸先の良いスタートとなり大変嬉しく思っております。「継続は力なり」ということを改めて実感致しました。今後も高校卓球部・中学卓球サークルの部員共々、より上を目指して精進していきたいと思っております。ご支援宜しく申し上げます。



同窓会企画「常総屋」今年も 大盛況!!



を博し、時には長蛇の列になることも。そして今回は裏メニュー「レインボーチーズハットグ」が登場。あつという間に完売しました。

常総屋ブースには誰でも自由に使える歓談スペースがあり、卒業生のみなさんが思い出話に花を咲かせていました。

私たちにとって母校の発展、在校生の活躍は何よりの喜びです。私たち同窓会役員のメンバーは、みんながあの頃に戻り懐かしさの余韻に浸りながらお客様をお迎えしています。私たちは、自分たちの母校で卒業してからもこのように学校行事に携われることに心から感謝しています。その感謝の思いを胸におもてなしをさせていただいています。が、それ以上に自分たちがお客様をはるかに超えるくらい楽しんでいきます。

卒業生のみなさん。今年二〇二〇年の常友祭にはぜひ足を運んでください。そして、母校の発展を肌で感じてください。みなさんのお越しを同窓会役員一同、心よりお待ち申し上げます。

見上げればひとすじのひこうき雲がどこまでも澄みわたる晩秋の空に、常友祭の開幕を告げる吹奏楽部のファンファーレが高らかに鳴り響いています。

今か今かと入場門の前で開場を待ち続けていた大勢のお客さまが一齐に歩き出しました。

さあ、いよいよ開店です。同窓会企画「常総屋」メニューは、同窓会名物、アツアツ揚げたてのポリウム満点串カツと、ひんやりとした晩秋の空気の中、心も身体もほっこり、あつたかい白玉ぜんざいの二種類です。

ここ数年ですっかり定着、同窓会名物となった串カツと白玉ぜんざい。例年好評

常総学院高等学校同窓会 副会長 山口 大武

櫻井富夫理事長

ありがとうございます

学校法人常総学院理事長、特別養護老人ホームシルトピア理事長、元県議会議員の櫻井富夫先生が平成三十一年四月三日(享年八十歳)に永眠されました。



櫻井富夫理事長の経歴

昭和14年11月27日生
茨城県新治郡八郷町(現在の石岡市)出身
県立土浦一高から早稲田大学法学部へ
早稲田大学大学院公共経営研究科修了
昭和58年学校法人常総学院を設立
平成5年特別養護老人ホーム「シルトピア」を設立
平成19年第99代茨城県議会議員
平成30年旭日小綬章を受賞



故櫻井富夫先生は理想的な教育実現のために常総学院を設立され、以降今日に到るまでその発展に御尽力下さいました。その熱意ある一言一言を御記憶の会員の皆様も多量にと存じます。我々がその意思を継げるよう決意を新たにすることにも、ここにあらためて故理事長の御冥福をお祈り申し上げます。



■平成30年度 常総学院高等学校同窓会決算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)
Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 卒業生会費, 在校生会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, 収入の部計.

▼支出の部 (単位:円)
Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.広報費, 9.行事費, 10.雑費, 11.次年度繰越金, 支出の部計.

上記のとおり決算いたしました。
令和元年5月11日 常総学院高等学校同窓会会長 飯田 晃久
上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明致します。
令和元年5月11日 会計監査 久保田 美幸 前川 信史

平成30年度決算について

- 1. 収入の部
当初の予算額より在校生終身会費の納入が増えた為、会費収入が増となりました。
2. 支出の部
男子バドミントン部・女子バドミントン部・女子バレーボール部・パワーリフティング部・陸上部・駅伝部・水泳部・ゴルフ部・写真部・チアリーディング部・卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行いました。その他、支出は極力経費の節減に努めました。

■平成31年度 常総学院高等学校同窓会予算書(案) (平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)
Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.会費, 卒業生会費, 在校生会費, 2.雑収入, 3.前年度繰越金, 収入の部計.

▼支出の部 (単位:円)
Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1.消耗品費, 2.通信運搬費, 3.印刷製本費, 4.会議費, 5.旅費交通費, 6.部活動補助費, 7.記念品費, 8.広報費, 9.行事費, 10.雑費, 11.次年度繰越金, 支出の部計.

※項目間の彼此流用することができます。
平成31年度・令和元年度予算について
平成31年・令和元年度予算は、平成31年度・令和元年度の事業計画と平成30年度の収支実績を勘案して編成しました。

- 1. 収入の部
卒業生の入会会、会費632名、会員年会費50名を収納予定として計上しました。
2. 支出の部
本年の事業計画は、①第19号同窓会会報の発行②常総学院教育学会への補助③会員への同窓会会報郵送④各部活動への補助⑤卒業生・新入学生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成しました。

令和31年度 常総学院高等学校同窓会 会務分担当表(案)

Table with 4 main columns: 担当, 本部役員, 学校, 主な業務. Includes roles like 総務, 経理, 会報, 事務局, 監事 and lists of names and schools.

同窓会事務局より

常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ
日時 令和2年5月31日(日)午前10時から
場所 常総学院高等学校 視聴覚教室
会員皆様の多数の御出席をお待ちしております。
悪質な電話(勧誘)にご注意
同窓会事務局あるいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、確認調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は、同窓会会長や学校長の名前が入った郵便で行います。
会報への寄稿をお願い致します。
会員皆様より会報への寄稿をお願い致します。特に、同窓会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお寄せ下さい。詳細は同窓会事務局までお願い致します。



常総学院中学校

Joso Gakuin Junior High School 2020

〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010 番地 TEL 029-842-0708 代 URL <https://www.joso.ac.jp/junior>

常総学院高等学校

Change Joso!!

- 現行コース 特進選抜αコース**
 - 特進選抜コース Ex(エクセレント)クラス
 - 東京大学ならびに医学部医学科、および早慶上智などの超難関大学合格を目指します。
- 現行コース 特進βコース(β7)**
 - 特進選抜コース
 - 旧帝大をはじめとする難関国立大学への合格を目指します。
- 現行コース 特進βコース(β6)**
 - 進学選抜コース (プログレス)
 - GTMarchなどの難関私立大学や国立大学への合格を目指します。
- 現行コース 特進βコース(β6)**
 - 進学選抜コース (フロンティア)
 - 有名大学への進学を目指します。

コース名が変わります!
カリキュラムが変わります!

◆お問い合わせ◆ TEL:029-842-8771(代)
(入試広報部) 〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010番地

URL <https://www.joso.ac.jp/>

「おいしい食事」がコンセプトの土浦駅近くのビジネスホテルです。



2食付きプランで高評価を頂いています。ビジネス・レジャー、合宿にも最適です。スタッフ一同心よりお待ちしております。

有限会社 明建商事
代表取締役 飯田晃久
(常総学院高等学校 1 期卒 現同窓会会長)



ホテル 明建

〒300-0823 茨城県土浦市小松 1-112
TEL 029-823-6100 FAX 029-824-6911

当ホテルのPR

- ①無料平面駐車場完備 (大型車可)
- ②嬉しい 2 食付きプラン
- ③男性用大浴場あり
- ④リニューアルしたユニットバス
- ⑤モーニングコーヒー無料
- ⑥駅近徒歩 7 分



筑波商事は茨城県南の地元に愛されて30年の総合不動産会社。賃貸や売買の不動産を通じて、様々な方の新生活、人生の転換期などの応援をしています。そしてお客さまのこんなお部屋や住宅に住みたい、という希望を叶えるべく、インテリアの開発をしたり、物件探しのお手伝いをして皆様の架け橋になれるように毎日活動中です!

株式会社 筑波商事

代表取締役 綿貫孝広 ワタヌキタカヒロ
(常総学院高等学校 10 期卒)



本社 牛久市中央 4-19-1 TEL 029-874-9500
ひたち野うしく店 牛久市ひたち野西 2-30-1 TEL 029-878-5000
つくば支店 つくば市東新井 20-4 TEL 029-863-2000
定休日 毎週水曜 第1・3火曜 受付時間 9:00~18:00
<http://www.tsukubasyoji.com/>

編集後記

卒業と同時に母校についての情報を得ることが自然と少なくなることも多いのではないのでしょうか。新聞やニュースなどで「常総学院」の名前を見ると自分の学生時代を思い出し、懐かしく思う方も多いと思います。

常総学院高等学校は今年度創立三十七年目、常総学院中学校は創立二十四年目を迎えました。教員として、学校に在籍していると卒業生が来校する光景をしばしば見かけます。当時お世話になった先生方のもとを巡りながら、話に花を咲かせている姿は本当に楽しそうで、心温まる風景でもあります。同時に卒業しても戻ってこられる場所として、常総学院が認識してもらえていることが嬉しく、と教員として身が引き締まる思いです。生徒たちが卒業しても戻ってきたいと思えるような学校であり続けられるように、私自身も微力ながら努力していきたいと思えます。

さて、皆様のお力添えのおかげで今年も無事同窓会会報第十九号を発行することができました。今年は今和元年度、新しい年号の始まりということもあり、同窓会誌の内容もリニューアルしました。より卒業生に興味を持って頂けるよう内容の充実も図っております。そのため、編集部ではご寄稿頂ける卒業生の方を随時募集しております。興味がある方は学校にご連絡頂ければ幸いです。

今後とも、御理解・御協力の程よろしくお願致します。同時に卒業生の皆様方ますますの御活躍をお祈り致しております。

同窓会会報担当 中島 成美
編集委員一同